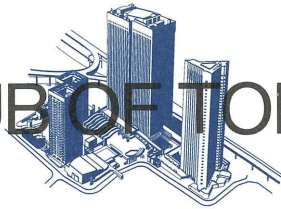




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000 : ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ／カルロ・ラビッツ会長

「皆のロータリー—新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ／渡部 元会長

本日の例会 11月26日 第634回例会

◎卓話

「グローバルスタンダード時代の人と企業のあり方」

モニターカンパニー 日本社社長

村沢 義久 氏

◎クラブフォーラム (13:40～15:00)

「千代田区分CグループIMの報告」

「ロータリーの人道的援助と国際奉仕の在り方」

先週報告 11月19日 第633回例会

◎卓話「現代どどいつ談義」

NHK芸文選評選者

日本エッセイストクラブ会員 中道 風迅洞 氏

◎慶事披露●誕生日祝／吉田用親君 (11月21日)

◎出席報告

●会員71名／出席45名・欠席26名 (出席規定免除者7名)

●ビジター6名／ゲスト会友 沖 宏之君

第2750地区千代田区分CグループIM報告

(日時)平成11年11月16日(火) (会場)学士会館

(東京芝・東京築地・東京新南・東京日本橋西・東京シティ日本橋RC共催)

国際ロータリー
第2750地区
千代田区分
Cグループ
IM
16 NOV
1999

○分科会A『会員増強及び女性会員の入会取扱いについて』

1. 会員増強について

まず参加5クラブより現状とクラブ方針が報告された。過去において効果のあった増強策、今後有効な増強策、退会防止について等意見を交換した。魅力あるクラブ作りが全ての土台であり、会員一人一人の意識が大切である。委員長のリーダーシップの必要性、グループ分けをする方法、職業分類を考慮すること、クラブ独自の入会案内書の作成、新会員の会の設立、短期休会の容認、70才以上会員の年会費軽減、退会者には次の候補を推薦して頂く等、各クラブより具体的方法が発表された。

2. 女性会員の入会について

5クラブより女性会員入会についての対応が報告されたが、各クラブ温度差があり、興味深かった。「ネガティブな流れの中で思い込みがある。法的・社会的・経済的・時代背景の中で前向きに考え、受け入れる体制が必要である。」「人物本位で考えるべきで、男・女で考えるべきではない。」「総論賛成、各論反対でアンケートでは反対が多い。」「このことは議論したくない雰囲気がある。区分区内にできる新クラブに入会してもらいたい。」等の意見が出された。

最後にガバナー補佐より「地区ではこの問題は解決済みである。ただし、千代田区分では女性会員は0である。現実を直視し、各クラブで具体的に対応してもらいたい。公式なIMの場で議論されただけでも刮目すべきことであり、新しい方向性が見出される思いである。」と締めくくられた。

(会員増強委員長 青野 信次)

○分科会B『ロータリークラブの人道的な援助について』

地区R財団人道的援助委員会新藤委員長が、最初に「R財団人道的プログラムの歴史」「R財団の寄付金」「R財団人道的プログラムとそれへのクラブ参加」という項目で基調講演を行った。それを受けて、当クラブ園谷会員が「R財団の人道的分野と教育的分野についての問題点」、日本橋シティRCが「RC財団の寄付について」、当クラブ小杉修造会員が前年度国際奉仕委員長としての体験をふまえて「同額補助金に関する問題点」を提起し、今後の課題とした。また、新藤カウンセラーは、シェアシステムを理解し、DDF(地区財団活動資金)をうまく活用することによって、各クラブがR財団プログラムに参加しやすくなる」と述べた。

更に活発な議論が続き、最後に日本橋西RC会員から「今までにない素晴らしいIMであった。一過性で終わらせるのは惜しいので、後日内容をまとめたい。」との発言で、定刻過ぎに閉会した。(国際奉仕委員長 佐々木 忠行)

○分科会C『青少年交換についての現状と問題』

分科会Cグループでは上記のテーマで、芝RCの斎藤ボランティア委員長の司会のもと活発に討議された。まず、テーマを絞るため、各クラブより過去の経験から何が問題であったかについて意見が述べられた。

1. ホストファミリーの諸問題。
2. 学校の決め方。
3. 地区とクラブ、RIと地区等情報伝達をもっと速やかにならないか。
4. 経費がかかり過ぎないか。
5. その他。

各クラブ共にホストファミリーについては苦労しているようで片寄りがちになってしまうようである。第1ホストファミリーの重要性については各クラブ共に認識している。ホストファミリーの開拓にはまだ余地があると思われる。

青少年交換の意義については9割以上のロータリアンが認めている訳で、色々問題はあが一つ一つ解決しながら、理解と協力を要請していきたい。

(青少年交換委員長 後藤 信夫)

当クラブ出席者 A分科会/西澤、青野、加藤、高須、武下、川鍋、梶内

(順不同・敬称略) B分科会/佐々木、園谷、小杉(修)、土屋、斎藤、渡邊、渡部

C分科会/後藤(信)、石坂、大山、山下、小杉(真)

ニコニコBOX

11月19日/16件 53,000円

99～2000年度累計 708,300円

多額の御寄付を有難うございました。

下村渥(東京南)/NHK時代の中道大先輩の卓話に敬意を表して。沖 宏之(会友)/会員の皆様のご友情に感謝して。長い間、ありがとうございました。福島賢哉/中道風迅洞さん、今日は卓話を有難うございます。吉田用親/誕生祝有難うございます。小杉真史/山下忠治/横山秀明/川鍋二郎/土屋東一/岩瀬秀郎/鈴木康一/関延春/入沢頼二/小湊雅亮/酒井一史/立林 英昭(以上の方のメッセージは、紙面の都合上割愛させて頂きました。)(敬称略・順不同)

「アーサー・フレデリック・シェルドン」について
ーサービスの思想ー

ロータリー情報委員長 馬場 一廣



本日取り上げますアーサー・フレデリック・シェルドンは、1868年ミシガン州ヴァーノンに生まれ、1935年に67歳で亡くなっております。ミシガン大学商学部を卒業した秀才で、

ミシガン学派と呼ばれていた経営理論を大学で学びました。それから教育書や百科

事典の販売の仕事をして生計をたてた後、シカゴで自らの出版会社を経営するようになり、1902年(34歳)にはシェルドン式販売学専門学校を設立し、この学校は大いに繁盛したとされています。

シェルドンは大柄のたくましい人であったようです。思い切り左よりのところで髪を分け、豊かな髪が額にかかっていました。彼はいつも人なつこさを漂わせていました。シェルドン夫人は才能豊かなピアニストで、シェルドンはチェロを弾き、いろいろな楽器を演奏する子供たちとファミリーオーケストラを編成していたと言われています。シェルドンがしゃべるとその声は朗々としていて、人々は彼の良識と博識と理想主義に裏付けられたその言葉に聞き惚れたとされています。

シェルドンがいつポールハリスと出会ったかということについては記録がありませんが、二人の友情は急速に深まっていったとされています。

シェルドンがシカゴロータリークラブに入会したのは1908年1月、40歳の時でした。その頃はロータリーが社会的目的を自覚するようになったとはいえ、まだまだ会員相互の物質的互惠取引が横行しているような有様でしたので、シェルドンが会員受諾の挨拶の中で彼の哲学に触れた時には、シェルドンの思想はシカゴロータリークラブの会員たちに大きな影響を与えました。

それから2年後、1910年(42歳)シカゴにおいて、ロータリークラブ全米連合会が初めて開催された時、シェルドンは次のように述べたのです。『20世紀に入ってから総じて人間の知識が発達して智慧の光が輝き始めたのに連れて、20世紀の商売の姿の特徴となるべきは「協調」(cooperation)であるべきだ。なぜならば他人への正しい行為という科学だけが引き合うことになるからである。商売は人道的サービスの科学である。即ち「人に対し最もよくサービスする者こそ最大の利得をする」のである。』

1911年8月、第2回のロータリー全米連合会が、アメリカ西海岸のオレゴン州ポートランドで開催された時、彼は出席できなかったため、大会幹事が彼の原稿を代読しました。これは大変な感銘を全出席者に与え、出席代議員たちはその全文を大会記録中に印刷するよう議決しました。シェルドンの代読演説は「商売はサービスの科学なり」と繰り返して述べました。

ところで“*He profits most who service best*”の思想は1908年のある夕、ミネアポリスの理髪店の椅子から、その組んでいた長脚を解いて飄然と戸外に現れた時、シェルドンの頭脳にひらめいたものだと言われています。

シェルドンは、その後も幾多のロータリー国際大会において講演をしましたが、その中でも1921年スコットランドのエジンバラ大会における演説が最も有名です。それはロータリーのサービスーヴォケーショナルサービスーの定義をロータリーの世界に与えたものであるからです。その演説は単にモラルの大切なことを協調したにとどまらず、善良なる商売道徳実践の真骨頂を説いたものでした。

シェルドンは、シカゴクラブの会員選考委員会の委員長、ロータリー全米連合会の商取引方法研究委員会の委員長など、ロータリークラブではいろいろな役目を引受けました。またロータリークラブで少年活動の分野でも活躍し、更に児童用の教科書を著したこともあります。

そののち彼の仕事がますます拡大して、ロータリーのために割愛できる時間が減ってきたため、シカゴ・ロータリークラブを退会のやむなきにいたり、わずかにロンドン及びエジンバラその他のロータリークラブの名誉会員としてとどまることになりました。

ロータリー思想形成の歴史はロータリーが親睦から出発し、会員の物質的相互扶助から精神的相互扶助へ発展し、職業奉仕の源流というべき奉仕概念に昇華していったと言われていますが、シェルドンがシカゴロータリークラブへ入会し、その思想によってロータリーに奉仕の概念が持ち込まれ、今日のロータリー思想の根幹を形成することとなっていたと言えるわけで、ロータリーはシェルドンとの出会いがなければ、奉仕の概念の導入はなかったかもしれないと言っても過言ではないように思います。そのような意味において、シェルドンはロータリーの奉仕の思想形成において最大の貢献をした人物とすべきでありましょう。

それはロータリーが公式標語として採用している“*He profits most who service best*”(最もよく奉仕する者、最もよく報いられる)に全て語られていると言って良いと思います。

次週予告 12月3日 第635回例会

◎年次総会／次年度(2000～2001年度)理事・役員選挙

◎卓話予定

「うぬぼれてる人間・環境保護と人々は言うけれど」

株式会社 ベル研究所 所長

小田原 健 氏

東京新南ロータリークラブ

会長：渡部一元 副会長：西澤正雄 幹事：小杉真史

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12時30分

例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、

後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、

村山 公士、田中 武、圓谷 正和、

保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武